

9. 四国（地域別調査機関：四国経済連合会）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連	良くなる	-	-
	やや良くなる	通信会社（管理担当）	・販売方法の変更による買い控えの反動や、新端末の販売予定もあることから、今後はやや良くなる。
	変わらない	商店街（代表者）	・まだまだ底をはっているような状況だが、空き店舗率も徐々に改善されて、新規の店も徐々にオープンしており、若干明るい兆しが見える。
		一般小売店〔生花〕（経営者）	・近くの会社は、燃料費の値上げなどからかなり経費を削減しているようであり、花の購入価格が毎月3,000円から2,000円に抑えられている。
		百貨店（営業担当）	・催事の関係もあり、宝飾品が好調に推移した。食品も堅調である。気温の影響で衣料系ファッション商品群の動きが前年より鈍い。
		百貨店（売場担当）	・急な寒波の到来で、現在、販売量は増加しているが、一時的なものである。
		スーパー（店長）	・今後、食品の値上げがどんどん続いていく。
		コンビニ（エリア担当）	・冬物商材が少しずつ売れてきて、来客数に若干改善の兆しが見られるものの、景気は現状維持がしばらく続く。
		家電量販店（営業担当）	・年末を目前に、冷蔵庫・テレビの動きが例年より悪い。
		乗用車販売店（従業員）	・ガソリンの高値安定が続き、景気が良くなるとは考えられない。
		乗用車販売店（管理担当）	・購買意欲が低く、来客数も少ない。
		乗用車販売店（営業担当）	・春の最需要期、いわゆる繁忙期は期待したいが、現状では難しそうである。ただ、新型車が12月に発売されるので、その効果を期待したい。
		住関連専門店（経営者）	・努力はしているが、販売量が予定まで届かない。
		一般レストラン（経営者）	・会食の予約数も少なく、例年だと忘年会の予約もたくさんあったが、週末の予約だけで、予算も安いものが多い。
	旅行代理店（従業員）	・旅行へのニーズは高い。2～3月は受験も含めて人の移動が多く今の景気は継続する。	
	やや悪くなる	商店街（代表者）	・近隣大型店舗の撤退で、周辺の集客力が落ちる。
		スーパー（店長）	・生活の基盤となる料金の値上げラッシュが続き、食費を何とか削ろうとする消費者の努力は、今後ますます強くなる。
		スーパー（企画担当）	・販売価格の引上げも予想されているので、景気は悪くなる。
		スーパー（財務担当）	・食品を中心とする物価の上昇は、来年以降顕著になる。
衣料品専門店（経営者）		・原油高等による身の回り品価格の上昇に対する客の慎重な様子がかがえ、ファッション関連消費が一段と冷え込む。	
都市型ホテル（経営者）		・予約状況も、予約している客の単価自体も芳しくない。	
タクシー運転手		・タクシーも来月から値上げになるなど、いい材料は全くない。	
通信会社（支店長）		・冬商戦に入り新商品も売り出すが、客の動きや反応が過去と比べて非常に鈍い。	
設計事務所（所長）		・マンション業者が地価を押し上げており、今後、民間の土地の動きが緩くなる。	
悪くなる	一般小売店〔乾物〕（店員）	・いろいろなメーカーから、値上げの要請が徐々にある。また、営業に使うガソリン代や光熱費が増加している。	
企業 動向 関連	良くなる	-	-
	やや良くなる	-	-
	変わらない	繊維工業（経営者）	・消費者は、その都度、商品の価値を吟味して慎重に買物をしている。手放して景気が良くなるとは感じられない。
		一般機械器具製造業（経理担当）	・関西エリアでは、各種建設プロジェクト工事がスタートし始めており、今後も工事量は好調に推移することが予想され、マインドは非常に良好である。
		電気機械器具製造業（経営者）	・オリジナルの商品は、昨年と変わらず順調に契約できている。しかし、他の設備の単価は非常に安く、大変苦戦している。
建設業（経営者） 広告代理店（経営者）		・受注できても、十分な利益が得られない。 ・郊外の新規ショッピングセンターの受注増もあるが、中心商店街の再開を契機に廃業する得意先もあり、結果としてあまり変わらない。	

	公認会計士	・企業経営者の中には、設備投資に対して後ろ向きの意見が多い。また、将来の資金繰りや売上に不安を持っている経営者も多い。したがって、景気が上向きになるには、まだもう少し時間が掛かる。	
やや悪くなる	パルプ・紙・紙加工品製造業（経営者）	・燃料の値上げの状況がまだまだ不透明で、更に上昇する可能性があり、景気はなかなか上昇しない。	
	一般機械器具製造業（経理担当）	・期末の注文（12～1月）が動く時期であるが、サブプライムローン問題の影響が経済全体に波及しかねず、ユーザーの請負単価も低下気味で、販売価格の低下は当面回避できず、業況の好転は見込めない。	
	電気機械器具製造業（経営者）	・円高・原材料価格の上昇等により、収益性が悪化する。	
	輸送業（役員）	・原油高騰により、燃料費自体大きな負担となっているが、それに加えて関連する原材料、調達費等の値上げが予想され、粗利益は大きく圧迫される。	
	輸送業（支店長）	・ルート配送の案件がまとまり、収入増が見込めるが、更に大幅に燃料が高騰するのですべて帳消しになる。	
	通信業（支店長）	・市場も飽和状態に近づいており、新たな市場も今は見当たらない。	
	金融業（融資担当）	・原油高騰によって、製造原価等がかなり高騰していると、客から訴えがある。	
	不動産業（経営者）	・建築確認申請の遅れ等から、地方都市の消費者マインドは冷え込んでおり、好転の兆しはない。	
悪くなる	建設業（総務担当）	・建築確認の遅れによる着工遅延が著しく、今後、資金繰りに支障をきたす。また、一方では、資材価格の値上がりも予想され、今後ますます苦しくなる。	
雇用 関連	良くなる	-	
	やや良くなる	-	
	変わらない	職業安定所（職員）	・新規求職申込件数も、新規求人数も、共に増加した。
	やや悪くなる	新聞社〔求人広告〕（担当者）	・本来なら幅広く経済に波及効果のある住宅関連が伸びればいいのだが、建築基準法の改正等により落ち込んでいる。 1・2次産業の発展がない限り、当県経済の浮上は望めない。
		職業安定所（職員）	・求人事業主からは、原油高騰に伴う原材料高により、経営が非常に厳しくなっているという話が多数聞かれる。このことから、3か月先もやや悪くなる。
		民間職業紹介機関（所長）	・業種間の格差はあるが、採用人数、広告・接待費、輸送費等を削減している企業が多い。
悪くなる	-	-	